

心の宝

令和3年 春号

花言葉

レンゲソウ（和名・蓮華草）

あなたと一緒になら

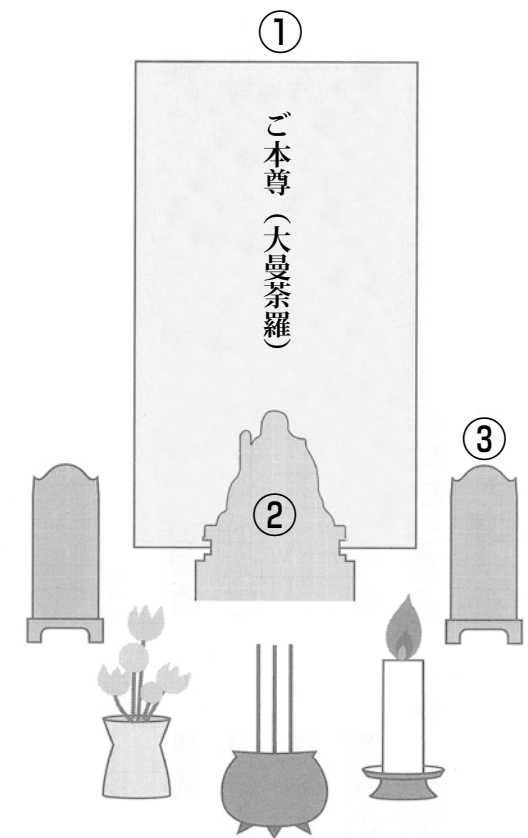
心がやわらぐ

宗華法本頭

ご本尊を正しくおまつりしましょう

私たちが信仰の対象として、心をこめて拜むのがご本尊です。顕本法華宗のご本尊は、お釈迦さまが法華経を説法されている様子を、宗祖日蓮大聖人が文字で顕されたもので大曼荼羅といいます。

ご本尊は、お釈迦さまの悟りの世界そのものであり、その大慈悲心を顕したものです。顕本法華宗の信徒である私たちは、宗祖が顕された正しいご本尊を掲げて、毎日の信仰増進に励むようにしましょう。



①ご本尊（大曼荼羅）

総本山妙満寺から授与されたご本尊をお仏壇の最上段の中心におまつりしましょう。

②日蓮大聖人像

宗祖をお慕いする気持ちからご尊像をおまつりする場合でも、ご本尊の前を大きくふさいではいけません。

③お位牌

ご本尊や日蓮大聖人像をおまつりする壇の一段下におまつりください。やむをえず上段に置く場合も、ご本尊をふさいではいけません。

中山日唳猊下を偲んで

京都市舞鶴市 法光寺 住職 桑村信慶



令和2年11月7日、元顕本法華宗管長・総本山妙満寺第三〇四世中山日唳猊下（聖浄院日唳上人）がご遷化されました。

京都市綾部市了圓寺住職在任68年、世寿94歳でした。

長年宗門・本山の役職に就き各事業に参画され、平成13年より2期6年間、顕本法華宗管長・総本山妙満寺貫首に就任され、平成14年には宗祖日蓮大聖人立教開宗七五〇年慶讃大法要に於いて大導師を勤められ、宗門挙げての慶讃事業を円成に導かれました。

また日唳猊下は、社会奉仕にも力を注ぎ、保護司として明るい社会実現のため活動され、綾部市保護司会会長を20年、京都市保護司会連合会会長・近畿地方保護司連盟会長の要職を歴任されました。この長年の更生保護活動が認められ、平成3年には藍綬褒章、平成11年には勲五等瑞宝章を叙勲受章されました。

日唳猊下は、綾部了圓寺と茂原来光寺のご住職を兼務されていましたが、今私が住職をしています、舞鶴市法光寺の代務住職を昭和56年より2年間お世話になった時代があります。この間、法光寺での各法要や葬儀法事にも綾部から駆けつけてお勤めいただき、檀信徒の教化と、私の法光寺晋山準備も総代会を立ち上げ進めていただきました。私が法光寺に晋山してからも、了圓寺をモデルとした婦人会の設立と清掃奉仕等、寺院運営をご指導いただき、現在でも40年余り続いています婦人会と清掃奉仕は、日唳猊下と奥様のお陰です。

日唳猊下の慈愛あふれたお姿にお目にかかれないのは寂しいことですが、本仏釈尊の霊山浄土より慈眼にていつも私たちを見守っておられると感じ、日唳猊下の増円妙道をお祈り申し上げます。

一、私たちの宗旨は顕本法華宗です	3
一、顕本法華宗の総本山は京都の妙満寺です	4
一、私たちは日蓮大聖人が定められた大曼荼羅を御本尊として篤く仏・法・僧の三宝さまに帰依します	6
一、私たちは妙法蓮華経と日蓮大聖人の御書を教えの拠り所とします	10
一、私たちはお釈迦さまを教主と仰ぎ日蓮大聖人を宗祖日什大正師を開祖として経巻相承を宗是とします	14
一、私たちはお釈迦さまの大慈大悲を信じて努めて菩薩の行を実践します	16
中山日唳猊下を偲んで	20
宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年	24
慶讃大法要を迎えて	25
宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年	25
慶讃大法要のご案内	25
宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年に向けて宗祖御降誕の祝年を寿ぎて	25
聖訓カレンダー	25
檀信徒のひろば	25
おつとめのお経一語一話	25
ひとくち法話	25
宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年	25
慶讃事業寄付者ご芳名	25
住職からのまごころ一品	25
まちがい絵さがし	25
宗門だより	25
本山だより	25
こちら編集局	25

宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年 慶讃大法要を迎えて

総本山妙満寺総務

吉永義康



総本山妙満寺におきましては、5月22日(土)、23(日)の両日にわたりまして慶讃大法要を奉修いたします。

日蓮大聖人は如説修行鈔の中で「今の世は鬪諍堅固白法隠没なる上、悪国・悪王・悪臣・悪民のみ有て正法を背て邪法・邪師を崇重すれば、国土に悪鬼乱入て三災七難盛に起れり。かゝる時刻に日蓮蒙仏救此土に生けるこそ時の不祥なれ」と、正しい教え法華経にそむいてよこしまな教えを信じ災難が並び起こっている、この様な時に日蓮が仏様のご命令を受けて仏救を蒙りてこの国に生まれてきたことは、悪心、悪鬼により乱れた国にとっては、まことに好ましくないことであろうと述べておられます。

末法の私たちは、邪法、邪説を信じ、善根功德を積むこともなく、お互い傷つけあい苦しみの中で生きています。そのような私たちを救済するために、お釈迦さまは上行菩薩(地涌の菩薩)である日蓮大聖人を遣わされたのでした。お釈迦さまの、智慧、慈悲、萬徳を具えたお題目によつてのみ、成仏の道はひらかれるのです。「此経をきき、うくる人は多し。まことに聞受る如に大難来れども憶持不忘の人は希なる也。受るはやすく、持はかたし。さる間成仏は持にあり。此経を持つ人は難に値べしと心得て持つ也。則為疾得無上仏道は疑なし」(四條金吾殿御返事) どのように苦しく、辛く、悲しい状況でも、お釈迦さまを信じ、日蓮大聖人のご恩徳に感謝して、一心精誠にお題目をお唱えいたしましょう。

令和3年 春季報恩大法要のご案内

令和3年5月22日(土)・23日(日)

宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃大法要

令和3年は、宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年の聖年に当たり(貞応元年「1222」2月16日ご降誕)、京都・総本山妙満寺において5月22日・23日の2日間にわたって「宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃大法要」(春季報恩大法要併催、計四座)を奉行いたします。風薫る好季節、皆様方のご参詣を関係者一同、心よりお待ちしております。

※このたびの行事は、新型コロナウイルス感染症防止のため、各座の参拝人数を100名に制限し、団体・個人を問わず事前申し込み制とさせていただきます。また、慶讃大法要記念コンサートのWebでのリアルタイム動画配信も予定しています。

※行事詳細につきましては本山ホームページをご覧ください。本山もしくは菩提寺まで直接お問い合わせください。



令和3年 5月22日(土)	10時30分	記念講演 中尾 堯(立正大学名誉教授)
	11時00分	慶讃大法要 第一座 (宗祖御真蹟御本尊開眼法要)
	12時00分	休憩
	13時30分	法話
	14時00分	慶讃大法要 第二座 (歴代・本宗僧員年回法要)

令和3年 5月23日(日)	10時30分	法話
	11時00分	慶讃大法要 第三座 (祠堂・納骨法要)
	12時00分	休憩
	13時30分	法話
	14時00分	慶讃大法要 第四座 (大施餓鬼法要)



令和3年6月6日(日) 宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年 記念コンサート『幻想組曲妙満寺』

さらに6月6日、本山を会場に京都市交響楽団メンバーの、アンサンブル「弦伍楼」による記念コンサートを開催します。

宗祖御降誕八〇〇年を記念して制作された唱歌「日蓮大聖人のうた」(土持悠孝作詞・作曲)と「ああ、日蓮大聖人」(高吉日山作詞・土持悠孝作曲)、さらに京都市交響楽団コントラバス奏者のジュビレーヌ・イデアラ氏が特別に書き下ろした新曲2曲(未発表曲)を加え、「幻想組曲妙満寺」と命名しました。大聖人のご遺徳を讃える弦楽五重奏と京響首席打楽器奏者・中山航介氏の打楽器&ピアノによる表現豊かな演奏をお楽しみいただけます。



日時 令和3年6月6日(日) 午後(時間未定)
会場 総本山妙満寺・本堂
定員 100名(定員になり次第、受付終了)
入場料 (お供え) 大人=3,000円、小・中学生=1,000円
子供・未就学児=無料



アンサンブル弦伍楼(げんごろう)
京都市交響楽団のメンバーを中心に結成した弦楽アンサンブル。グループ名は京都発のメジャーロックバンド「くるり」の岸田繁氏の命名であり、同氏には楽曲提供も受けている。2019年に旗揚げ公演を行い、様々な音楽要素を取り入れた活動に注目が集まっている。Youtubeチャンネル「弦伍楼」

申込受付開始 令和3年3月1日(月)より

申込受付開始 令和3年3月1日(月)より

令和3年は宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年です。

主催：顕本法華宗宗務院／総本山妙満寺／宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃事業奉行委員会

令和3年 宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年に向けて

宗祖御降誕の祝年を寿ぎて

ことほ

広島県安芸高田市 蓮華寺住職
特命布教師

吉本乗明

じょうみょう



昨年は新型コロナウイルスの流行に始まり、多くの人が感染し大変な年でしたが、皆様どうぞ引き続きご留意ください。

さて、私ども顕本法華宗は唯一、お釈迦様と日蓮大聖人の純粋な教えを今に受け継いでおります。

正しい信仰と揺るぎない信心は、必ず私たちを苦しみの淵より救ってくださります。お釈迦様と大聖人のお言葉を一途に信じて、日々の

生活を送ってまいりましょう。

本年は大聖人の御降誕八〇〇年のご聖年に当たります。この稀なる年にお遇いできることを共に悦び、このご縁に繋^{つな}ぎてくださいましたご先祖様に、感謝のご供養を捧げていただきたいと存じます。

来たる5月22・23日には、総本山妙満寺に於いて宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃大法要が執り行われますので、僧俗共々にお経を唱えていただきたく思います。そのうえで各家のご先祖様のご供養と、亡き近い方々のご供養をなさってください。ご供養は亡き方へ届くのみならず、供養をなさいます皆様方が功德を積むこととなります。千載一遇のご聖年の功德は計り知れず皆様を守ってくださいますので、是非ともこの折にご供養・ご祈願をなさいますことをお勧めいたします。お申し込みは各寺ご住職にお願いなさってください。

さて、私は本来ネガティブ（マイナス思考）な人間でありましたが、人生決して卑下^{ひげ}しておりません。大病を機に超ポジティブ（プラス思考）になったと思います。

私は病弱であり、大抵たいていの検査・治療はしました。ですから病人の辛さや苦しさは身に染みてわかりますし、社会人としても金融・保険の窓口や経理を担当しましたので、勤め人の悲哀大変さも痛感しております。また、趣味を通して多くの人に出会い、様々な知識や技術も経験をさせていただきました。これらのことは、今の私を形成している一因だと思います。全てのこと、全ての出逢いさまよにただ感謝の一言です。

私は約15年前に大病を思い、生死を彷徨さまよいました。集中治療室や無菌室のドームの中も体験し、薬の副作用による全身麻痺で寝たきりにもなりましたが、痛みも感じますし、話は聞こえますし理解もできます。ただ、意思を伝えることができないだけなのです。寝たきり状態で介護を必要としている方の気持ちも体験させていただいたのだと思います。

昔、祖母が「あなた達も、私の歳になるとわかる」と口癖のように言っていました。体が不自由だと、思ったことがすんなりできないのです。若く元気な方には、どの様に説明しましても理解することができないのは致し方無いと思います。今、私に与えられている法務や仕事は、体と相談しながら真摯に向き合って、黙々とこなしていきたいと思って行動しております。特命布教師の御役も早、10年、多くの人に支えられて何とかお勤めできております。ドクターストップで飛行機の搭乗は完全禁止で、新幹線も極力禁止されているのですが、新幹線が使えないと困りますので、体調を考慮しながら途中何度か下車しながら利用し、人一倍移動時間を要します。

何度余命宣告されたか覚えていないくらいに何度も、「もうダメ」も尚、生かさせていたただいておられます。何故生きて、生かされて、何をすべきなのか。自問自答をしながら、「昼行灯あんどんが丁度いい」と言えるような人生を目指しております。



田月

うつりやすきは人の心なり
善悪にそめられ候

西山殿御返事

建治二年（二二七六）大聖人五十五歳

この御遺文は富士郡西山郷の地頭であったとされる西山入道への礼状だと思われます。錢五貫文を確かに拝受したことを述べられ、信仰に対する心構えを説かれます。「雪は白く染めようと思っても染められません。黒い漆も染めようと思っても染められません。しかし人の心は移りやすく善にも悪にも染められてしまいます。諸宗の邪悪な

者に染められるならば地獄に堕ち、逆に法華経に染められるならば必ず成仏できます。法華経の方便品には『諸法実相』と説かれ、譬喩品には『若し人信ぜずして、この経を毀謗せば其の人命終して、阿鼻獄に入らん』と説かれています。法華経の御信心を白い雪、黒い漆のように何者にも染められず受持してください」と締め括られています。

最近、信仰や道徳を軽んじたリメディア等で直葬や墓じまいなどを勧める風潮がありますがそれは正しいでしょうか？
様々な事情がある方もおられるでしょうが少し考えればわかることだと思います。

私たち顕本法華の信徒は悪しき風潮には染められず、久遠実成の釈尊を信じお題目を唱え信仰を受持していききたいものです。

五月

法華経は種の如く
佛はうへての如く
衆生は田の如くなり

曾谷殿御返事

建治二年（二二七六）大聖人五十五歳

この御遺文は鎌倉武士で後に出家され日蓮大聖人から「法蓮日札」の法号を授与された曾谷教信に対する書状です。内容は成仏について用心すべきことが示されていることから「成仏用心抄」とも呼ばれます。

經典に基づき成仏の義は法華経に限られ、法華経以前の諸経には成仏の義の無いことを説明され、妙法蓮華経の五字は神力

品にある本仏釈尊から本化上行菩薩に付嘱（託すこと）された末法の衆生成仏の要法であることを詳細に説明されます。それらに基づくなら他仏他法他師について成仏を求めることは誤りであり、それら謗法の者を正さなければ悪道に堕ちると述べられ、本仏（久遠実成の釈迦牟尼仏）・本法（妙法蓮華経）・本僧（末法の初めに出現し法華経を

弘める*本化上行菩薩）の三宝に帰依して成仏を期すべきであると厳しく誡められます。そして末法の衆生は心の田に本仏釈尊によって妙法五字の仏種を植えられて成仏できるのであるから、この本仏と本法と本僧に背いてはならない。もし背いたならば日蓮でも後生を助けることは出来ませんよと、成仏の用心を示され締め括られています。

*日蓮大聖人のこと

茨城県神栖市

長照寺

(住職 吉本栄昶 師)

筆頭総代 太田 宗伯氏



長照寺では、月2回、三遊亭圓窓 師匠をお招きし、落

心安全な地域発展に協力しております。檀家や地元の方々「神栖市一番」といわれるように地域に根差した寺院を目指しております。

檀信徒のひろば

～私たちの菩提寺～

このコーナーでは、各寺院で行っている特色のある法要や、催し物、檀信徒の旅行会や、青年会等の取り組みなどを紹介します。

長照寺は、茨城県神栖市にありま... の地域は、ピーマンの出荷量が日本一で、メロンやトマト、千両の栽培が盛んです。神栖市は利根川と太平洋に挟まれており、漁業も盛んで、陸・海・川と資源が豊富です。また、鹿島工業地帯もあり、多い時で流動人口含めて40万人の市です。夏の祭りがあり、威勢のいい地域です。しかし、歴史は浅く、これといった文化・観光資源はありません。

語の稽古をしております。檀家さんに限らず、公開稽古という形で楽しんでいただいております。他のお弟子さんとの交流稽古や、発表会など、地域を超えて落語と仏教に触れる機会をつくっております。お寺を中心に芸能の文化を育てております。



また、境内を活用し、鹿行地域(茨城県南東部)と銚子の全高校生を対象に、市と地域の医療機関と協力し二週間の医療介護体験や、小学生を対象にした夏休みのお寺体験などを開催しております。さらに、介護施設や警察での講演を通して、幅広く安心安全な地域発展に協力しております。

六月

大海の水は一滴なれども
無量の江河の水を納めたり

月水御書

文永元年(一二六四) 大聖人四十三歳

この御遺文は、日蓮大聖人の信者である大学三郎(比企能本)の夫人に対する返書です。

「法華経を一品ずつ、二十八日間て法華経を一部読んでいましてが、今は薬王品の一品を毎日読んでいます。もとのように一品ずつ読んだほうがよいでしょうか」との問いに対し答えられます。

末法の時代に法華経を誦していることを褒められ、その功德

は広大だと言われます。しかし信心を持って南無妙法蓮華経と唱える功德は一部二十八品を誦するのと同じ功德があり、それは大海の水は一滴でも無量の江河の水を納めているようなものでありと述べられます。そして法華

経二十八品で特に優れているのは方便品と寿量品である。その他の品はそれらの枝葉であつてこの二つを読めば余品も誦したこ

とになり、修行の所作としては方便品と寿量品を誦し、お題目を唱えなさいとご教示されます。

修行の所作の基本は方便品・寿量品・お題目です。その中で一番重要なのがお題目、次に寿量品(自我偈)、次に方便品、そして時間が許せばその他の品となります。本宗では從浅至深と言いますが、この方法を忘れないようにしてください。

おつとめのお経 一語一話

第九回

お経の中には、たくさんの言葉が出てきます。

このコーナーでは、毎回ひとつの言葉にスポットを当てて解説いたします。

「有頂天」

有 頂天ちやうてんという言葉は、古代インドの言葉であるサンスクリット語で、Bhava（存在）の agra（頂き）を意味するバハバール（Bhavāgra）となっていますが、日常的に使われている意味では、天にも登る心地や無我夢中になること。転じてうわの空であることをいうようです。

仏 教では、三界という世界観があり、欲界よくかい、色界しきかい、無色界むしきかいを指します。欲界というのは食欲や物欲等がある衆生をはじめ、地獄、餓鬼、畜生、修羅、人、天などの6つの世界があるとします。

色界とは、欲望から離れてはいるが物質的や肉体的な束縛からは完全に脱却していない世界

です。最後の無色界とは、物質的肉体的な束縛からは完全に脱却し、天界の最上層に位置し、心の働きからなっている世界であり、その世界の頂点が、有頂天です。

でありますので、人間界に住んでいる感覚からいたしますと、とてつもない高い次元の世界でのお話で、一般的に使われているような意味ではないことがご理解いただけると思います。

法 華経には見宝塔品第十一というお経があります。法華経の正統性を証明するために多宝如来が登場される有名なお経です。

法華経見宝塔品では、お釈迦さまが姿を隠され入滅をされた後、悪い人が多くなるので、法華経を弘めることの大変さを六難九易のお話で説明されます。そして、有頂天に立って、法華経以外のたくさんの教えを説く難しさを説いておられます。

しかしそれよりも、法華経を読んだり、説い

たり、書いたり、受持したり、研究するのは、はるかに難しいとされます。

それは人を驚かすような行いよりも、有頂天にしていることよりも、正しい教えのままに信仰生活を送るのは難しい、と見宝塔品では説かれています。この後説かれる教えでは「法華経が一番の經典で、一番の經典だからこそご守護や功德も一番である」と説かれるのです。

（成洋）



編集局より

有頂天にはそんな意味があったのですか！

正しい教えのままに信仰生活を送ることとは、素直な心でお題目を唱えることなのです。そして、平和な生活を送るには、日々の積み重ねが大切なのです。

1 そら豆・菜の花・しめじを茹で、各種野菜を約1cm幅にカットし容器に入れる。

水煮野菜は湯通しすると臭みがとれます



2 市販コンソメの素や顆粒を使いコンソメスープを作ります。スープが温かいうちに粉ゼラチンを入れ混ぜます。



3 ほどほどに冷まし、1に注ぎ、冷蔵庫で約3時間固めます。

※住職さんのメモ

コンソメスープを出汁スープに変えて、生クリームソースに入れるレモン汁をワサビに変えるだけで和風前菜に早変わり！
ピンクペッパーは山椒に！



4 生クリームソースを作ります。生クリームに塩とレモン汁を味をみながら入れ6分立てにする。ピンクペッパーを軽くつぶします。

5 固まったゼリーの容器をお湯につけ、軽く溶かしお皿に移します。(容器とゼリーの間に空気が入ると取れやすいです。)生クリームソースをかけピンクペッパーをふります。



かんたんフレンチ風
春野菜のコンソメゼリー寄せ

材料 (約2人前)

コンソメスープ..... 360cc
粉ゼラチン..... 10g
春野菜 (約1cm幅のカット状にします)

ミニトマト
そら豆
菜の花
しめじ
水煮ヤングコーン
水煮タケノコ

写真参照の上
適量で



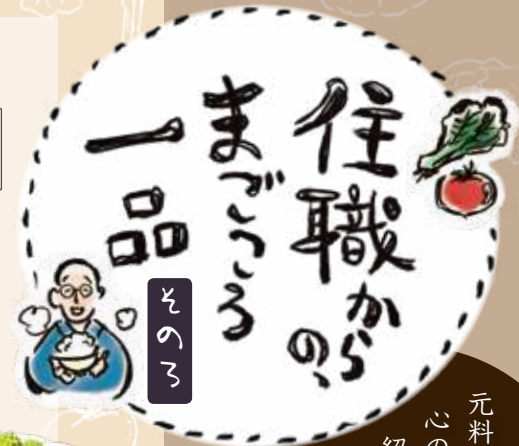
生クリームソース用

生クリーム..... 100 ~ 150cc
ピンクペッパー..... 適量
レモン汁..... 適量
塩..... 適量

*適量は好みの量になります。
*野菜や調味料は自由に好みの物を使ってください。
*野菜の量は好みで。(具が多いとゼリーの形が崩れやすくなります)

富田俊光師

1974年3月22日生、
1992年新宿調理師専門学校入学、1993年ホテルグリーンタワー幕張入社、1998年総本山妙満寺奉仕生、2011年~現在千葉県東金市滝 清滝寺住職



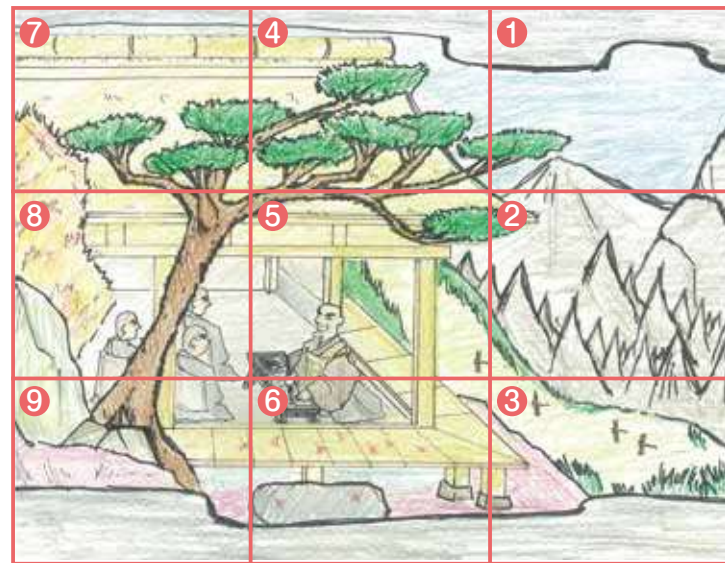
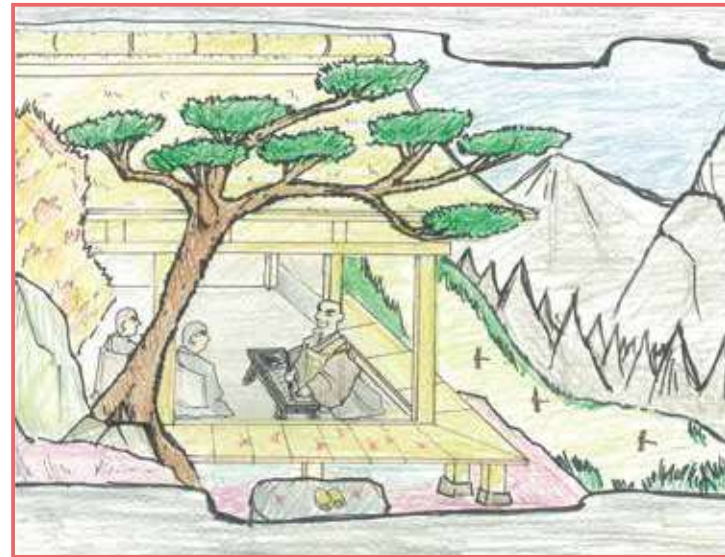
元料理人のご住職に、心のもった一品を紹介していただくコーナーです。皆様もぜひ。

毎日の食事の時には、必ず合掌して、一つひとつの食材の命に感謝し、そして携わった人々に感謝し、食前の食法をお唱えしてください。

(食前の食法)
「天の三光に身を温め、地の五穀に魂を養う。皆これ本仏の慈悲なり。南無妙法蓮華経。いただきます。」
(天の三光：太陽、月、星。 地の五穀：米、麦、粟、豆、黍などの穀物。)

上の絵と下の絵で違うところを5つあります。間違いを探して番書でお答えください。正解者には、抽選で粗品をさしあげます。ぜひ、ご応募ください。

宗祖日蓮大聖人のご生涯 第十回
【身延入山】



絵：中村文治

文永11年の春、佐渡島の流罪が解かれ赦免になられた日蓮大聖人は、鎌倉の幕府評定所の平頼綱に呼ばれます。頼綱は蒙古(元寇)がいつ頃日本に攻めてくるかと尋ねます。すると大聖人は「今年は一定(元寇)」(撰時抄)と答えられ、幕府による真言の蒙古調伏の祈禱を止め、法華経に帰依せよと3度目の国家諫暁をされます。

しかし鎌倉幕府は意見を変えることはなく、大聖人も二度諫めて受け入れられなかったため、鎌倉を退去し、波木井美長の所領のある甲斐国身延(現在の山梨県身延町)に入られるのです。以来9年もの間、大聖人は身延山に草庵を結び、この地で法

悦とご報恩の生活を過ごされます。今日まで伝わる約500通の御妙判の半分は身延で著されたものであり、「撰時抄」「報恩抄」などが代表的ですが、その中には門下の育成、教徒への慈愛など、人間としての大聖人のお人柄を感じ取れる御妙判もあります。

身延山での生活の間に、「元寇」が起こります。先に平頼綱の問いに対して「今年は一定」と答えてからわずか半年での出来事であり、『立正安国論』を幕府に提出してからはすでに二十余年の月日が流れていました。「文永の役」では大風が吹き数百年の船は海の底に沈みましたが、フビライは日本侵攻を諦めず、「弘安の役」になります。しかしこの時も

大風によって失敗いたしました。一説には3度目の侵攻も予定されていたそうですが、元は国内の反乱を鎮圧するのに手間取り、その間にフビライが没してしまい、日本侵攻は棚上げとなるのでした。

八ガキに答えと、住所、氏名、年齢、菩提寺名、『心の宝』への感想を記入の上、下記あて先までご応募ください。

締め切り：4月末日(消印有効)

「和顔愛語」コーナーの投稿もお待ちしております。

〒700-0818

岡山市北区蕃山町 3-5

本行寺内『心の宝』まちがい絵さがし係



第2回
貞徳忌俳句大会

11月15日、妙満寺大書院において「第2回 貞徳忌俳句大会」(貞徳忌俳句大会実行委員会主催、総本山妙満寺・日蓮宗実相寺後援)が開催され、約70名が参加、会場は大いに賑わいました。



400句を超える事前投句の中から優秀作品が選ばれ、選者の先生方による表彰と厳しくもユニモアあふれる講評が行われました。

また、大晦日の除夜の鐘、元日午前0時からの新歳国禱会も新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、参詣者の受け入れを急遽中止、いずれも山内僧員のみで奉修し、新年の世界平和と国土安穩、疫病退散を祈念しました。

12月6日、大川日仰貌

また、大晦日の除夜の鐘、元日午前0時からの新歳国禱会も新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、参詣者の受け入れを急遽中止、いずれも山内僧員のみで奉修し、新年の世界平和と国土安穩、疫病退散を祈念しました。

令和3年度総本山妙満寺護持会賛助のお願い

平成19年に本山の経済的支援と護持発展を目的として「総本山妙満寺護持会」が発足して以来、全国のご寺院・檀信徒の皆様から温かいご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。(令和2年度 総額二五、二八〇、〇〇〇円)

お寄せいただいた浄財は、本山の経常会計へ計上、諸堂境内の維持管理、布教・教学の興隆のため大切に活用させていただきます。

【勸募要項】

- 加入単位
法人会員…1口5万円 (寺院・教会、企業等)
個人会員…1口1万円 (檀信徒、僧員・寺族等)

会費の納入方法

- (イ) 郵便振替
※振替番号は裏表紙参照。
※振替用紙が必要な方はご連絡下さい。本山より送付いたします。
※なお、領収証は郵便振替の受領証をもって代えさせていただきます。

- (ロ) 現金書留
※本山の住所は裏表紙をご参照下さい。
会計年度
毎年1月1日～12月31日まで
その他
・会員の方には、本山だより『妙塔』(季刊)をお送りします。
・毎年1月に、新年度の賛助のご案内をお送りします。

～「心の宝」への感想・
おたより紹介コーナー～

こちら
編集局

皆様からのご意見、お手紙等多数いただき、誠にありがとうございます。今後も編集局一同、読みやすい紙面を目指し努力して参ります。

令和2年春号「ひとくち法話」。豊臣家の家系は断絶したと思っておりましたが、姉の家系が続いており、しかも天皇家に関係しているとのこと、大変興味深く読ませていただきました。

千葉県茂原市・山田寛さん

「住職からのまごころ一品」を読んで、ラタトゥイユのおしゃれな料理に初挑戦。食材のズッキーニも初めて使いました。マッシュルームも入れました。作り方通りで簡単おいしく、新しい一品ができました。次回も楽しみにしている高齢者です。

京都市・高井栄子さん

令和2年春号「～御真蹟にふれて」。宗祖日蓮大聖人の御真蹟は研究され尽くされているものと思っておりましたが、そうした中で御真蹟を新発見！真摯な取り組みが素晴らしい！

千葉県木更津市・荒井米造さん

「おつとめのお経一語一話」は歌のように唱えてきたお経の意味がよくわかり、80才代になってようやく賢くなりました。実行、実現は難しいですが励みたいと思います。

東京都世田谷区・西村小城市さん

以前「まちがい絵さがし」応募に当選し、お線香「星月夜」をおくっていただきました。とってもいい香りなものですから、両親にお供えしなくて自分が楽しんでおります。リラックスできるのです。有難うございました。

岡山県備前市・平松智恵子さん

毎号「まちがい絵さがし」を孫と何分で解けるか競います。楽しみにしています。

千葉県東金市・橋本敏子さん

毎回一語一話で勉強させていただいております。令和2年春号では菩提寺の川崎英真住職のお話に興味を持ちました。

千葉県茂原市・鈴木絢子さん

お詫びと訂正

令和3年新年号記事で、誤りがありましたので訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

P29、年賀広告 第二教区

(誤) 永福寺 本福寺 清龍寺

(正) 永福寺 本福寺 清瀧寺

令和3年
本山行事

- ▶ 1/1(金・祝)
新歳国禱会
- ▶ 2/28(日)
御開山会
釈尊涅槃会
宗祖降誕会
- ▶ 3/20(土・祝)
春季彼岸会
- ▶ 4/3(土)
花まつり
- ▶ 5/22(土)・23(日)
宗祖日蓮大聖人
御降誕八〇〇年
慶讃大法要
- ▶ 8/7(土)
盂蘭盆施餓鬼会
- ▶ 9/23(木・祝)
秋季彼岸会
敬老会
- ▶ 10/12(火)・13(水)
宗祖日蓮大聖人
御会式
- ▶ 12/5(日)
釈尊成道会・
大根だき
- ▶ 12/31(金)
除夜の鐘



令和3年春季報恩大法要
宗祖日蓮大聖人

御降誕八〇〇年慶讃大法要

本年は、私たち顕本法華宗の宗祖、日蓮大聖人御降誕八〇〇年の聖年に当たり、5月22日(土)、23日(日)の両日にわたり厳修いたします。参拝者の人数制限(各座の参列人数を100名とする)などコロナ感染防止に努め、計4座を奉修する予定です。皆様のご参詣を心よりお待ちしております。

5月22日(土)

- 10:30 記念講演
中尾 堯(立正大学名誉教授)
- 11:00 慶讃大法要 第一座
(御真蹟御本尊開眼法要)
- 12:30 法 話
- 14:00 慶讃大法要 第二座
(歴代・本宗僧員年回法要)

5月23日(日)

- 10:00 法 話
- 10:30 慶讃大法要 第三座
(祠堂・納骨法要)
- 13:30 法 話
- 14:00 慶讃大法要 第四座
(大施餓鬼法要)

日什大正師留魂の根本道場

顕本法華宗 総本山妙満寺

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町91
TEL 075-791-7171 FAX 075-791-7267
郵便振替 01060-8-5040 (口座名「妙満寺」)
HP http://myomanji.jp/



季刊『心の宝』第125号(令和3年春号)

発行所 顕本法華宗宗務院

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町91 総本山妙満寺内

TEL 075(791)7171 FAX 075(791)7267 HP http://www.kenpon.jp/

発行日 令和3年2月20日

菩提寺